

医療をチームで支える各部門 をまとめて紹介します!

薬剤科



私達薬剤部門の使命は、患者さまに安全且つ安心して薬を服用していただくこと、そして病棟において医師・看護師が安心して医薬品を使用できるよう支援することにあると考えています。7名の薬剤師は、使命遂行のため、そしてチーム医療に貢献するため、医薬品の選定・発注業務、調剤業務、服薬指導、医薬品管理業務などの多様な薬剤業務に、日々精力的に取り組むとともに、他の職種との連携を大切にしています。

また、3名の研修認定薬剤師を中心に外部の研修会にも積極的に参加し、最新の医薬品情報の収集・発信にも努めています。

放射線科

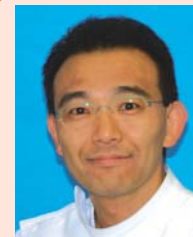


放射線科は、医師の指示のもと、各種の放射線撮影装置などを駆使し、診断や治療方針決定のために極めて重要な画像情報を提供している部門です。

スタッフ数は診療放射線技師3名。少人数で平日の通常業務のほか、土日・祝日等の緊急時撮影の業務対応も行っています。

当科では、撮影・検査に当り、放射線は人体にとって本質的に有害なものとの認識のもと、医師に、当該撮影・検査が診療上必要不可欠なものか否かについての配慮をお願いし、実施するよう心掛けています。

リハビリテーション部



●土田隆政副院長
兼リハビリテーション部長



リハビリテーション部のスタッフ数は総勢67名(平成20.4.1現在)と看護部に次ぐ大所帯。

患者さまの身体や心の機能を改善させるための機能訓練とともに、日常生活を想定した“生活リハビリ”を日々実践しています。

また、平成18年8月に、理学療法科、作業療法科、言語療法科に続き、訪問リハビリテーション科を新設、専任スタッフ2名が、連日(土・日・祝日を除く)、北は北1条から南は定山溪方面まで、サービス提供のために飛びまわっています。

私達リハビリテーション部は、楽しみながら機能を維持していただき、ご家庭や地域、病院での生活が生き生きしたものとなるためのお手伝いをいたします。

栄養科



栄養科の陣容は総勢8名(管理栄養士5名と栄養士3名)。

私達は、「高齢の患者さまに毎日おいしい食事をしていただく」ことが、栄養科の最大の役割と心得、病態別の食事はもちろん、のど詰り事故や誤嚥性肺炎などが起こりにくい食形態の『ゼリー食』『ミキサー食』、アレルギー対応・禁止対応など患者さまお一人お一人に合った様々な食種を提供しています。

「人は『口から食べる』ということが生命の基本である」と言われています。

患者さまに日々安全な療養生活をしていただくために、多職種と連携し患者さまの権利を支援して行きたいと思っています。

臨床検査室



臨床検査室は、臨床検査技師2名の小所帯。検査の種類は、検体検査と生理検査の二つに大きく分かれます。

人の体から採取された血液、尿、便・・・etcの検査を検体検査と言います。

これに対し、心電図検査、超音波検査(心臓・腹部)、呼吸機能検査など、医者・看護師・臨床検査技師などが人に接して行う検査のことを生理検査と呼んでいます。

特に、生理検査を行う場合、検査に対する患者さまの不安をできるだけ取り除き、患者さまに安心して検査を受けていただけるよう、いつも心掛けています。

歯科



愛全病院歯科では、愛全病院の入院患者さまやそのご家族、外来の方などに、虫歯の治療や入れ歯の作成・調整、口腔ケア等の治療を行っています。車イス専用ユニットがありますので、普通のユニットに座れない方も治療が可能です。

また、通院が難しい方を対象に訪問歯科診療を行っています。「通院ができないから・・・」とあきらめて痛みを我慢している方、お気軽にお問い合わせください。

なお、毎週水曜日午後には、札幌医科大学の口腔外科と提携して口腔外科外来も行っています。

私達は、「より良く食べ、より良く生きるために、お口の健康を守る」お手伝いをしていきたいと思っています。

医療福祉連携課医療相談室

様々な問題への対処として「相談」というコミュニケーション手段は重要なものです。医療相談室では、治療だけではなく、例えば、入院による介護の問題や経済的な問題等入院から退院の間の様々な問題についてご相談を受け付けています。



また最近では、病院にかかるためには「紹介」が必要となりますが、その一つとして、転院先に患者さまの情報が提供されることでスムーズな転院を目指す、業界内で「地域連携パス」と呼ばれているツールを使用するようになってきています。さらに、当院での治療やリハビリテーション終了後の退院先の検討が必要な時には、愛全会グループのサービス等のご紹介や手続き代行をさせて頂くことも少なくありません。医療相談室は、地域やグループ内の医療機関・施設等との「連携」の窓口としての役割も果たしています。